

2024年度

「お客さま本位の業務運営に関する取組方針」の取組状況について

2025年6月



お客さま本位の業務運営に関する取組方針に係る成果指標（KPI）の公表について

◇当金庫では、お客さまの資産形成に関する業務において、おもてなしの心でお客さまの最善の利益を追求するため、「お客さま本位の業務運営に関する取組方針」を制定し、公表しております。また、その取組状況についても毎年6月に公表し、見直しをすることとしています。

◇このたび、当金庫では「お客さま本位の業務運営に関する取組方針」の定着状況を確認するため、金融庁から発信された「共通KPI」を含め、成果指標（KPI）を、以下の通り設定し公表いたします。（※掲載データ及び掲載資料等の基準日：2025年3月末日時点）

今回公表する成果指標（KPI）	
1	商品ラインナップ（投資信託・保険）
2	投資信託残高・投資信託口座数・NISA口座数・投資信託販売額・投資信託定時定額平均引落金額の推移
3	投資信託の販売額における毎月分配型商品と毎月分配型商品以外の販売比率
4	投資信託の販売額上位商品（上位5銘柄）の推移、その販売額／構成比
5	一時払保険販売額・一時払保険販売件数の推移
6	庫内研修の実施状況
7	FP資格保有者数
8	運用損益別顧客比率（投資信託）【共通KPI】
9	運用評価別顧客比率（外貨建一時払保険）【共通KPI】
10	投資信託預かり資産残高上位20銘柄のコスト・リターン【共通KPI】
11	投資信託預かり資産残高上位20銘柄のリスク・リターン【共通KPI】
12	銘柄別コスト・リターン（外貨建一時払保険）【共通KPI】

当金庫の取組方針		原則※	取組状況
1	お客さまの最善の利益の追求	2、5、6	P2、P6、P7、P8 P11、P12、P14
2	利益相反の適切な管理	2、3	P7、P13
3	お客さまが負担する手数料の明確化	2、4、5、6、7	P3、P12、P14
4	お客さまに分かりやすい情報提供	2、4、5、6	P2、P3、P4、 P5、P9、P10
5	お客さまにふさわしい商品・サービスの提供	2、4、5、6	P2、P4、P5、P6
6	お客さまの資産形成にあたって信頼される業務運営および人材育成	2、4、5、6、7	P2、P9、P10

※取組方針の見直しにつきましては、現方針のより一層の深化を図るため、見直しを行っておりません。

取組方針の詳細な内容につきましては、下記URLをご参照ください。

https://www.shinkin.co.jp/ookawa/pdf/okyakusama_torikumihoushin.pdf

※原則欄の数字は金融庁が公開した「顧客本位の業務運営に関する原則」における該当番号です。

原則の内容については最終ページに掲載していますのでご参照ください。

※当金庫は金融商品の組成に携わっていないため、以下の項目は非該当です。

<非該当項目>原則6（注3）、補充原則1／補充原則2／補充原則3／補充原則4／補充原則5

※原則6（注6）について

一般社団法人投資信託協会の政策委員会決議「プロダクトガバナンスの向上のために情報連携の対象となる投資信託に係る基本的な考え方」に基づき、2025年6月末を最初の基準日として本格的な情報連携を行う予定としているため、現時点で未実施としております。

1. お客様に寄りそった資産形成・運用の支援①

(1) お客様に寄りそった資産形成・運用の支援実現のために

- ◇当金庫では、お客様の豊かな家庭生活実現へのお手伝いのため、お客様とコミュニケーションを重ね、お客様に最も適した商品・サービスの提供に取り組んでおります。
- ◇お客様に最も適した商品・サービスを提供するために、柔軟な発想と豊かな人間性を開発育成し高いモラルと誠意をもって、お客様本位の業務運営に取り組んでおります。

(2) お客様のライフプランやご意向に沿ったご提案

- ◇当金庫では、お取引の都度、お客様からいただいた「お客様アンケート」を活用し、お客様とコミュニケーションを重ね、お客様のお考えを丁寧にお伺いすることなどにより、お客様と資産運用の目的を共有し、お客様のライフプラン等を踏まえた資産形成・運用の支援を行っております。
- ◇情報提供ツール「Wealth Advisor」「マネープランガイド」を用いて、お客様とのコミュニケーションを重ねながら、お客様にとって最適な資産形成・運用の支援を行っております。

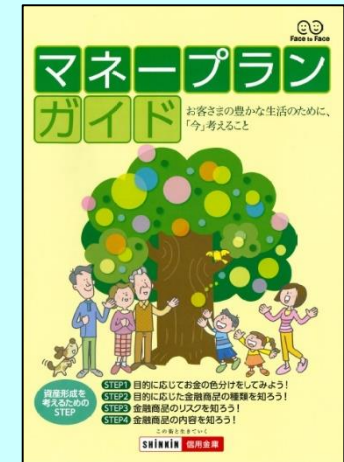
【「Wealth Advisor」「マネープランガイド」を使っでの支援】

「Wealth Advisor」とは？

当金庫全営業店に設置のタブレット内に導入している、ウエルスアドバイザー(株)の複合的な資産運用情報提供ツールです。

「マネープランガイド」とは？

主なライフイベントの平均的な費用やお客様を取り巻く環境、お金の色分け等、お客様が豊かな生活を実現するために必要な情報を提供するツールです。



1. お客さまに寄りそった資産形成・運用の支援②

(3) お客さまへ手数料を含む重要な情報の分かりやすい提供

◇お客さまの金融知識、投資経験、属性などをしっかりと聞きし、お客さまの状況に合わせて、お客さまに十分ご理解いただけるような分かりやすい情報提供に取り組んでいます。また、お客さまがご負担する各種手数料について、すべての資産形成商品に関し、お客さまへ丁寧かつ分かりやすい説明に取り組んでいます。

◇投資信託について

- 各商品のパンフレットや目論見書に加え、「投資信託ラインナップ」「Wealth Advisor」「NISAガイドブック」等を活用し、投資信託の制度・商品内容・購入時手数料・信託報酬などの諸費用、内在するリスクについて、お客さまお一人おひとりに合わせた丁寧かつ分かりやすい説明を行っております。
- 当金庫では、お客さまが投資信託に親しみやすい環境の整備と購入時手数料明確化の観点から、ノーロード型商品を除き、お申込手数料を窓口販売1.10%（税込）、投信インターネットサービス0.88%（税込）に統一しております。

◇保険商品について

複雑な機能を有する保険商品（外貨建一時払保険等）の販売にあたっては、複数日にわたるなど、より時間をかけて丁寧な説明を行い、また、ご高齢のお客さまに対してはご家族等の同席をお願いするなど、当金庫役席者同席の上、きめ細かな対応に取り組んでいます。

◇アフターフォローについて

お客さまに安心して預かり資産を保有していただけるよう、契約後も半年に1回程度、訪問や電話等でアフターフォローを実施し、運用状況や市場動向についての説明等、情報提供に取り組んでいます。

◇「重要情報シート」導入について

お客さまへ、より分かりやすい情報提供の実践に取り組むため、「重要情報シート」導入についても検討しております。



おこわ信用金庫取扱投資信託商品一覧													
つみたて投資枠専用ファンド													
商品名	運用方針	リスク	最低投資額	追加投資額	解約手数料	信託報酬	運用期間	運用会社	運用資産	運用資産	運用資産	運用資産	運用資産
Ifree TOPXインデックス 大配当リート型ファンド	米国市場に連動したインデックス型ファンドです。米国市場の動向に連動して運用を行います。	5	100円	100円	0円	0.15%	1年以内	100円	100円	100円	100円	100円	なし
Ifree iPIX株400インデックス 大配当リート型ファンド	400銘柄のインデックス型ファンドです。米国市場の動向に連動して運用を行います。	5	100円	100円	0円	0.15%	1年以内	100円	100円	100円	100円	100円	なし
Ifree S&P500インデックス 大配当リート型ファンド	米国市場の動向に連動したインデックス型ファンドです。米国市場の動向に連動して運用を行います。	5	100円	100円	0円	0.15%	1年以内	100円	100円	100円	100円	100円	手数料なし
Ifree NYダウインデックス 大配当リート型ファンド	米国市場の動向に連動したインデックス型ファンドです。米国市場の動向に連動して運用を行います。	5	100円	100円	0円	0.15%	1年以内	100円	100円	100円	100円	100円	なし
Ifree 先進国バランス 大配当リート型ファンド	先進国市場の動向に連動したインデックス型ファンドです。先進国市場の動向に連動して運用を行います。	4	100円	100円	0円	0.24%	1年以内	100円	100円	100円	100円	100円	なし
成長投資枠対象ファンド													
商品名	運用方針	リスク	最低投資額	追加投資額	解約手数料	信託報酬	運用期間	運用会社	運用資産	運用資産	運用資産	運用資産	運用資産
女性消費株ファンド 大配当リート型ファンド	女性消費株に連動したインデックス型ファンドです。女性消費株の動向に連動して運用を行います。	5	100円	100円	0円	0.15%	1年以内	100円	100円	100円	100円	100円	0.88%
成長株ファンド 大配当リート型ファンド	成長株に連動したインデックス型ファンドです。成長株の動向に連動して運用を行います。	5	100円	100円	0円	0.15%	1年以内	100円	100円	100円	100円	100円	1.10%
ESGテーマ株式コース 成長株ファンド	ESGテーマに連動したインデックス型ファンドです。ESGテーマの動向に連動して運用を行います。	5	100円	100円	0円	0.15%	1年以内	100円	100円	100円	100円	100円	1.10%
先進国インデックスファンド225 大配当リート型ファンド	先進国市場の動向に連動したインデックス型ファンドです。先進国市場の動向に連動して運用を行います。	5	100円	100円	0円	0.15%	1年以内	100円	100円	100円	100円	100円	手数料なし
海外新興国日本株ファンド 大配当リート型ファンド	海外新興国市場の動向に連動したインデックス型ファンドです。海外新興国市場の動向に連動して運用を行います。	5	100円	100円	0円	0.15%	1年以内	100円	100円	100円	100円	100円	1.10%
One国内株オープン 大配当リート型ファンド	国内市場の動向に連動したインデックス型ファンドです。国内市場の動向に連動して運用を行います。	5	100円	100円	0円	0.15%	1年以内	100円	100円	100円	100円	100円	0.88%
トヨタ自動車・トヨタグループ株式ファンド 大配当リート型ファンド	トヨタ自動車・トヨタグループ株式に連動したインデックス型ファンドです。トヨタ自動車・トヨタグループ株式の動向に連動して運用を行います。	5	100円	100円	0円	0.75%	1年以内	100円	100円	100円	100円	100円	なし
インデックスファンFNASDAQ100 大配当リート型ファンド	NASDAQ100に連動したインデックス型ファンドです。NASDAQ100の動向に連動して運用を行います。	5	100円	100円	0円	0.48%	1年以内	100円	100円	100円	100円	100円	0.88%
グローバル・ロボアドバイザー株式ファンド 大配当リート型ファンド	グローバル市場の動向に連動したインデックス型ファンドです。グローバル市場の動向に連動して運用を行います。	5	100円	100円	0円	0.15%	1年以内	100円	100円	100円	100円	100円	1.10%
グローバル・ヘルスケア&バイオ ファンド 大配当リート型ファンド	ヘルスケア&バイオ市場の動向に連動したインデックス型ファンドです。ヘルスケア&バイオ市場の動向に連動して運用を行います。	5	100円	100円	0円	0.20%	1年以内	100円	100円	100円	100円	100円	1.10%
ダイワインド株ファンド 大配当リート型ファンド	ダイワインド株に連動したインデックス型ファンドです。ダイワインド株の動向に連動して運用を行います。	5	100円	100円	0円	1.84%	1年以内	100円	100円	100円	100円	100円	なし

1. お客様に寄りそった資産形成・運用の支援③

(4) お客様の多様なニーズにお応えする商品ラインナップの整備

- ◇お客様の多様なニーズにお応えし、お客様に適切な商品を選択いただけるように、商品ラインナップの充実に取組んでおります。
- ◇商品の選定にあたっては経済環境などを踏まえ、幅広い投信会社や保険会社等が取扱う商品の中から、お客様のニーズに沿った商品を取り揃えております。
取扱商品の見直しにつきましては、投信会社や保険会社等と意見交換を行い、商品性や各社の取組状況を踏まえ、商品選定を行っております。
また、お客様に提供する商品としての合理性を事前に検証するステップを踏み、その商品性やリスクやリターンを検証のうえ取扱いを決定しております。

◇投資信託ラインナップ（2025年3月末日時点）

NISA対応ファンド									
成長投資枠	商品分類	商品数	うち毎月分配型商品	うち毎月分配型商品以外	つみたて投資枠	商品分類	商品数	うち毎月分配型商品	うち毎月分配型商品以外
	国内債券型	0	0	0		国内債券型	0	0	0
	国内株式型	7	0	7		国内株式型	2	0	2
	国内不動産型	0	0	0		国内不動産型	0	0	0
	海外債券型	0	0	0		海外債券型	0	0	0
	海外株式型	12	0	12		海外株式型	2	0	2
	海外不動産型	0	0	0		海外不動産型	0	0	0
	バランス型	2	0	2		バランス型	1	0	1
	合計	21	0	21		合計	5	0	5
NISA対象外ファンド									
課税扱いファンド	商品分類	商品数	うち毎月分配型商品	うち毎月分配型商品以外	取扱いファンド数合計				30
	国内債券型	0	0	0					
	国内株式型	1	0	1					
	国内不動産型	1	1	0					
	海外債券型	1	0	1					
	海外株式型	0	0	0					
	海外不動産型	1	1	0					
	バランス型	0	0	0					
合計	4	2	2						

1. お客様に寄りそった資産形成・運用の支援③

(4) お客様の多様なニーズにお応えする商品ラインナップの整備

< 保険商品 >

◇保険商品ラインナップの見直しについて◇

2024年10月に市場ニーズを考慮して取扱商品の見直しを行いました。

【新規導入商品】

「おおきな、まごころ2（三井住友海上プライマリー生命保険株式会社）」

【その他】

2024年4月に三井住友海上火災保険株式会社の事業性保険「ビジネスプロテクター」に商品改定があり、「ビジネスプロテクター」2商品が1商品に集約されました。

保険商品ラインナップにつきましては、右記の通りです。

最新の取扱商品詳細につきましては、下記URLをご参照ください。

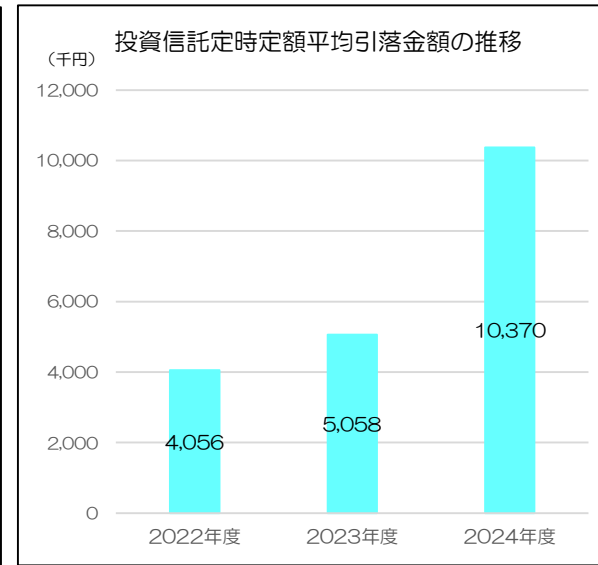
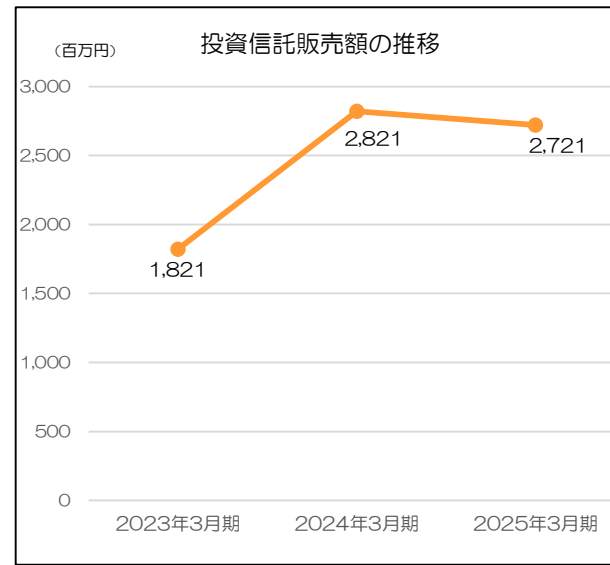
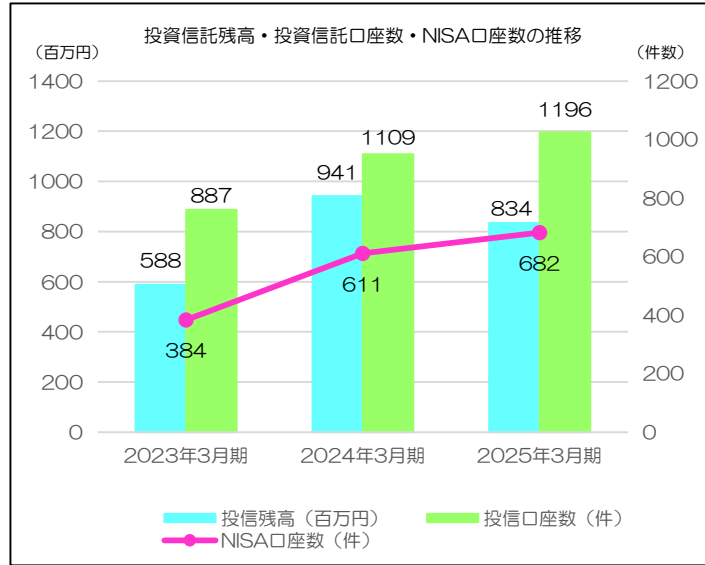
<https://www.shinkin.co.jp/ookawa/loan/hoken.html>

◇保険商品ラインナップ（2025年3月末日時点）

商品分類	商品数	商品名	保険会社
個人年金	1	たのしみ未来グローバル/ たのしみ未来グローバル<学資積立プラン>	住友生命保険相互会社
終身保険	6	しんきんらいふ終身FS<無告知型>	フコクしんらい生命保険株式会社
		エブリパティⅡ	明治安田生命保険相互会社
		ふるはーとJロードグローバルⅢ	住友生命保険相互会社
		外貨建・エブリパティプラス【バランスタイプ】	明治安田生命保険相互会社
		えらべる外貨建一時払終身	明治安田生命保険相互会社
		おおきな、まごころ2	三井住友海上プライマリー生命保険株式会社
医療保険	5	ハローキティの医療保険	フコクしんらい生命保険株式会社
		&LIFE新医療保険Aセレクト	三井住友海上あいおい生命保険株式会社
		新メディフィットA	メディケア生命保険株式会社
		新メディフィットPlus	メディケア生命保険株式会社
		新メディフィットRe	メディケア生命保険株式会社
がん保険	2	『生きる』を創るがん保険 WINGS	アフラック生命保険株式会社
		メディフィットがん保険	メディケア生命保険株式会社
傷害保険	1	標準傷害保険	共栄火災海上保険株式会社
定期保険	3	ハローキティの定期保険	フコクしんらい生命保険株式会社
		5年ごと配当付保障選択制定期保険	明治安田生命保険相互会社
		5年ごと利差配当付新定期保険新定期保険E	明治安田生命保険相互会社
火災保険	3	安心あっとホーム	共栄火災海上保険株式会社
		THE すまいの保険	損害保険ジャパン株式会社
		GK すまいの保険	三井住友海上火災保険株式会社
債務返済支援保険	1	グッドサポート（債務者負担方式）	共栄火災海上保険株式会社 損害保険ジャパン株式会社
事業性保険	3	業務災害補償保険「ビジネスプラン」	共栄火災海上保険株式会社
		業務災害総合保険「ハイパー任意労災」	AIG損害保険株式会社
		ビジネスプロテクター	三井住友海上火災保険株式会社
商品数合計			25

2. お客様ニーズに適した商品提案①

(1) 投資信託残高・投資信託口座数・NISA口座数・投資信託販売額・投資信託定時定額平均引落金額の推移



○投資信託口座数およびNISA口座数、投資信託残高、投資信託定時定額平均引落金額は資産運用ニーズの高まりを受け増加しております。今後も、お客様のニーズに適した資産運用に関する情報とサービスの提供に努め、「長期・積立・分散投資」を含め、お客様の安定的な資産形成・資産運用のための最適な提案を行っております。引き続き、アフターフォローを含め、きめ細かなサービスの提供に努めてまいります。

(2) 投資信託の販売額における毎月分配型商品と毎月分配型商品以外の販売比率

	2023年3月期 (販売額：1,821百万円)		2024年3月期 (販売額：2,821百万円)		2025年3月期 (販売額：2,721百万円)	
	販売額 (百万円)	構成比 (%)	販売額 (百万円)	構成比 (%)	販売額 (百万円)	構成比 (%)
毎月分配型商品	40	2.20	18	0.64	4	0.15
毎月分配型商品以外	1,781	97.80	2,803	99.36	2,717	99.85

○お客様の投資目的やリスク許容度、ライフステージや属性等を踏まえ、お客様のニーズをご確認し、「長期・積立・分散投資」につながるご提案に努めております。

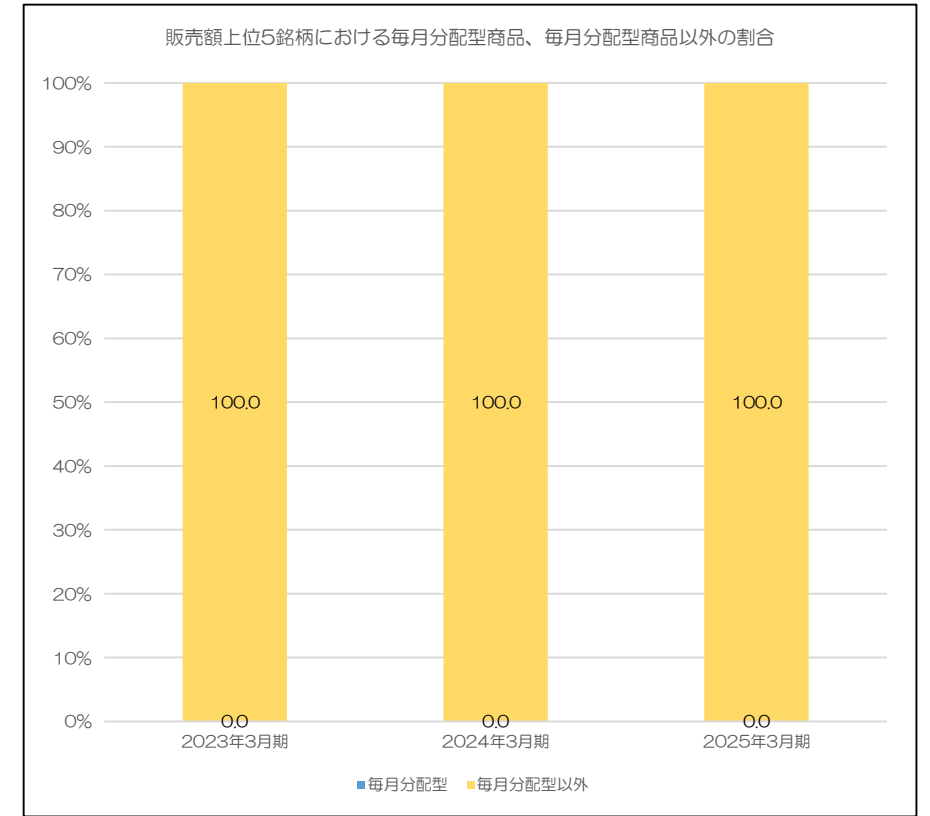
○投資信託販売額における毎月分配型商品の販売比率は3%以下の低水準となっております。分配金の受取りを希望されるお客様に対しては、分配金支払いの仕組みや元本に対する影響などを十分にご理解いただくよう努めております。

○引き続き「長期・積立・分散投資」に適したファンドの導入と、お客様ニーズに沿ったご提案に努めてまいります。

2. お客さまニーズに適した商品提案②

(3) 投資信託の販売額上位商品（上位5銘柄）の推移、その販売額／構成比

順位	2023年3月期（販売額：1,821百万円）					2024年3月期（販売額：2,821百万円）					2025年3月期（販売額：2,721百万円）				
	商品名	分類	収益分配	販売額 (百万円)	販売比率 (%)	商品名	分類	収益分配	販売額 (百万円)	販売比率 (%)	商品名	分類	収益分配	販売額 (百万円)	販売比率 (%)
1	しんきんイン デックスファ ンド225	国内株式	年1回	1,470	80.72	しんきんイン デックスファ ンド225	国内株式	年1回	2,390	84.72	しんきんイン デックスファ ンド225	国内株式	年1回	2,210	81.22
2	リバース・ト レンド・オー プン	国内株式	年1回	100	5.49	リバース・ト レンド・オー プン	国内株式	年1回	149	5.28	netWIN GSテ クノロジー株 式ファンドB コース（為替 ヘッジなし）	海外株式	年2回	152	5.59
3	グローバル・ ハイクオリ ティ成長株式 ファンド（為 替ヘッジな し）	海外株式	年1回	52	2.86	グローバル・ ハイクオリ ティ成長株式 ファンド（為 替ヘッジな し）	海外株式	年1回	63	2.23	トヨタ自動車 ／トヨタグ ループ株式 ファンド	国内株式	年1回	57	2.09
4	トヨタ自動車 ／トヨタグ ループ株式 ファンド	国内株式	年1回	46	2.53	トヨタ自動車 ／トヨタグ ループ株式 ファンド	国内株式	年1回	55	1.95	ダイワ・インド 株ファンド	海外株式	年4回	43	1.58
5	グローバルA 1ファンド	海外株式	年1回	27	1.48	グローバルA 1ファンド	海外株式	年1回	23	0.82	ニッセイ宇宙 関連グローバ ル株式ファン ド（資産成長 型・為替ヘ ッジなし）	海外株式	年1回	39	1.43



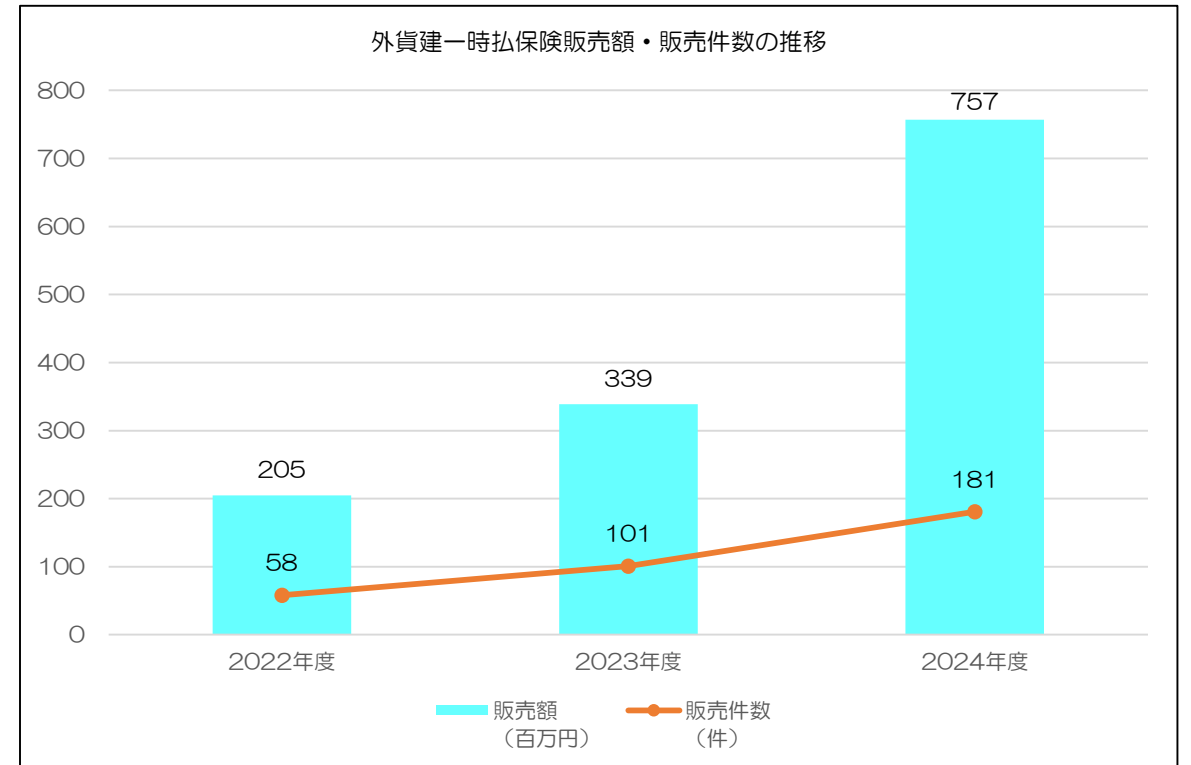
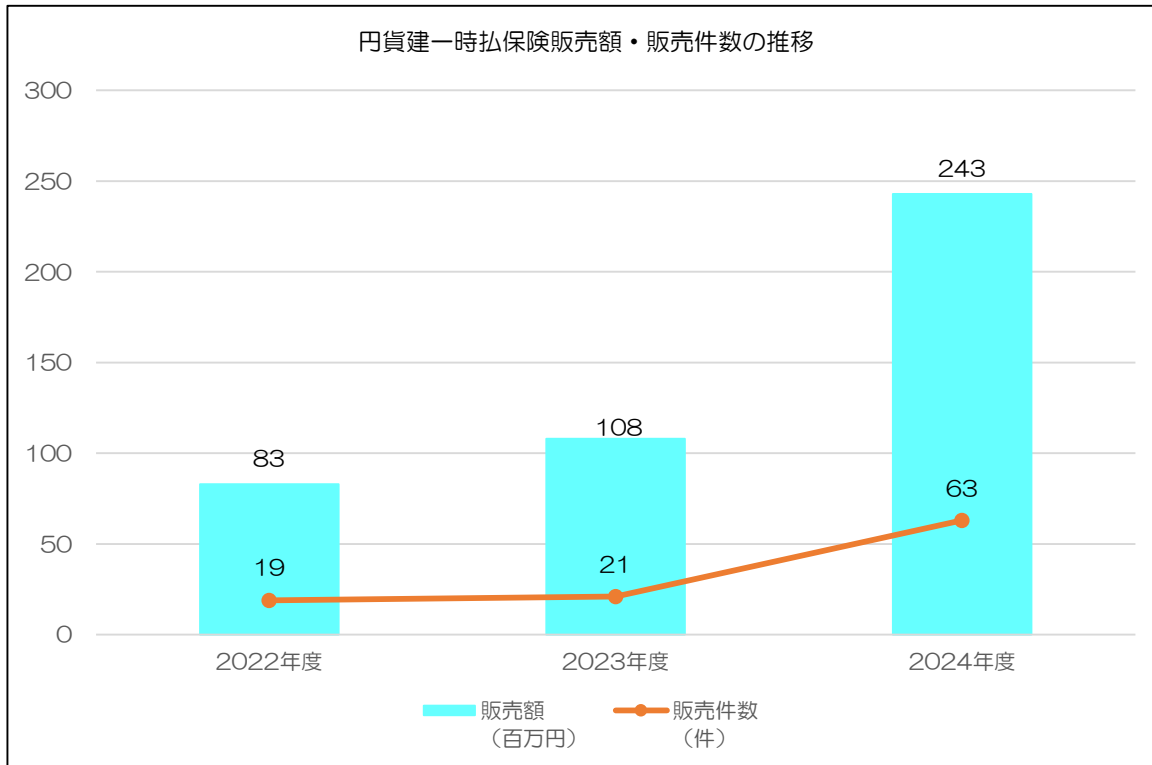
○お客さまと資産運用の目的を共有し、お客さまのライフステージ等を踏まえ、投資されるお客様に分かりやすい商品のご提案に努めております。

○投資信託の販売額上位商品（上位5銘柄）における直近3年度の毎月分配型商品の構成比は0%でした。

引き続き、分配金支払いの仕組みや元本に対する影響などを十分にご理解いただくよう努めてまいります。

2. お客様ニーズに適した商品提案③

(4) 一時払保険販売額・一時払保険販売件数の推移



○お客様とコミュニケーションを重ね、お客様のご意向を把握し、相続対策を兼ねた長期資産形成商品として一時払保険をご提案しております。

○商品提案に際しては複数日にわたるなど、より時間をかけて丁寧な説明を行い、アフターフォローを含め、きめ細かな対応への取組みを継続しております。

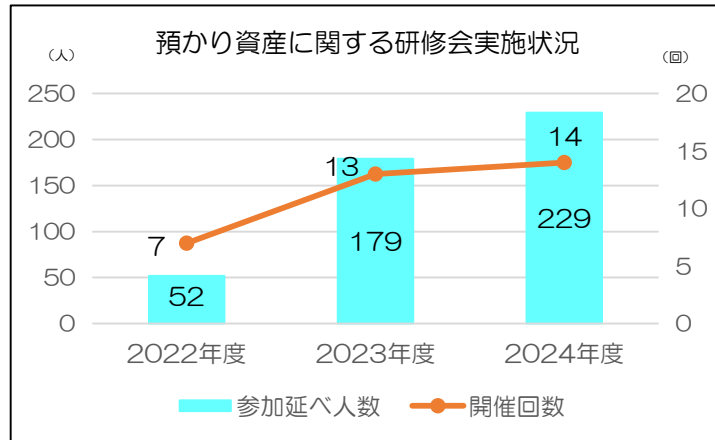
○外貨建保険（変額保険、市場価格調整機能を有する保険商品を含む）につきましては、投資信託等の他の預かり資産商品とあわせてご提案させていただくことが多いことを踏まえ、代理店手数料を開示しております。代理店手数料につきましては、お客様に商品内容等とあわせて商品を選択いただく判断材料の一つとしていただいております。

○2025年度につきましては、2024年度に引き続き、お客様の「相続対策や死亡保障、長期資産形成」のニーズが高く、販売件数及び販売額は増加しました。

3. お客様本位の業務運営を実践するための態勢

- ◇各種研修会やロールプレイング大会の実施、FP（ファイナンシャルプランナー）といった専門資格の資格奨励等を通じ、役職員の質的向上およびスキルの強化を図り、お客様の資産形成に関するコンサルティング能力向上に取り組んでおります。
- ◇預かり資産のご提案や情報提供、フォローアップを専門的に行うマネープランナーを本部に配置しております。営業店とお客様の情報を共有し連携を図り、お客様のご意向に沿った資産形成へのご提案に取り組んでおります。
- ◇お客様本位の業務運営方針に沿った営業活動を促すため、預かり資産販売額や手数料収入に重点を置いた評価はせず、預かり資産残高や口数、アフターフォロー等に重点を置いた業績評価体系を構築しております。

◇預かり資産に関する研修会実施状況



○集合形式での研修会実施状況は上記表のとおりです。集合研修の他、ZOOM等を活用し、投信会社や保険会社主催のセミナーへの参加、マネープランナーによる営業店個別勉強会等の実施により、スキルアップに取り組ましました。

◇各種集合研修会の一例（2024年度実施分）



マーケット動向に関する研修
(2024年5月23日実施)



最適な提案のための仮説想像力研修
(2024年8月28日実施)



新商品導入研修
(2024年9月11日実施)



コミュニケーションスキル向上研修
(2024年9月19日実施)

◇ロールプレイング大会

○毎年度、預かり資産販売に関するロールプレイング大会を実施し、情報共有とスキルアップを図り、お客様の長期・安定的な資産形成に寄与する提案に活かしております。

◇2024年度ロールプレイング大会



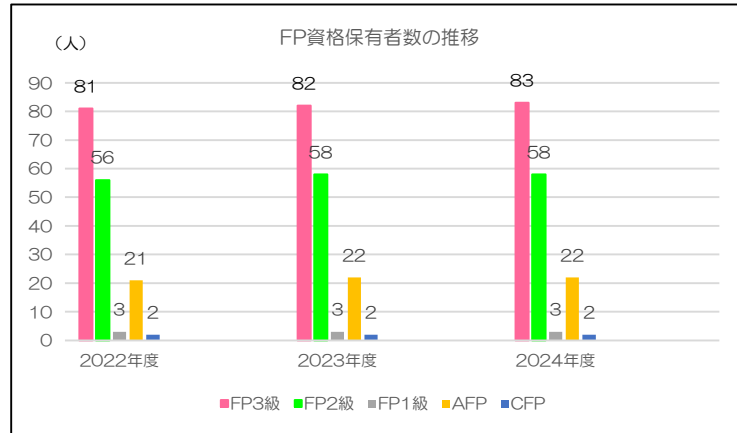
○2024年度は投信窓販をテーマとしたロールプレイング大会を実施し、情報共有とスキルアップを図りました。
(2024年度実施日：2025年2月18日・19日)

◇ロールプレイング大会アフターフォロー研修の実施

○ロールプレイング大会の効果を持続させるため、ロールプレイング大会アフターフォロー研修を実施しました。
(実施日：2025年3月18日)

3. お客様本位の業務運営を実践するための態勢

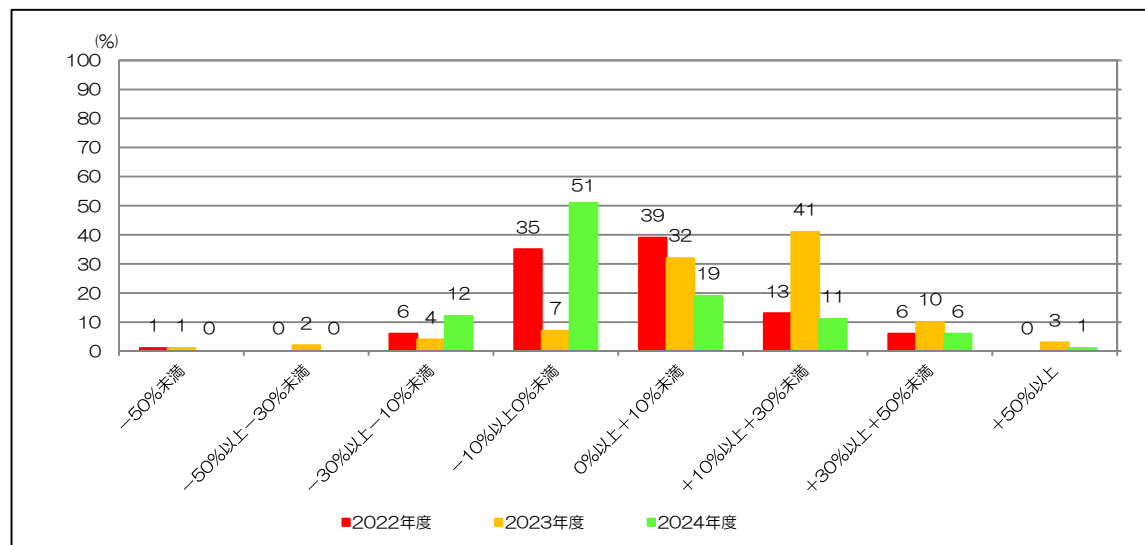
◇FP資格保有者数の推移



○お客様の資産形成に関する専門知識・スキルを有する人材育成の観点から、FP資格取得奨励に取り組んでおります。

4. お客様の運用成果に関する指標 ～比較可能な共通KPI①～

(1) 投資信託の運用損益別顧客比率



<本項目の内容について>

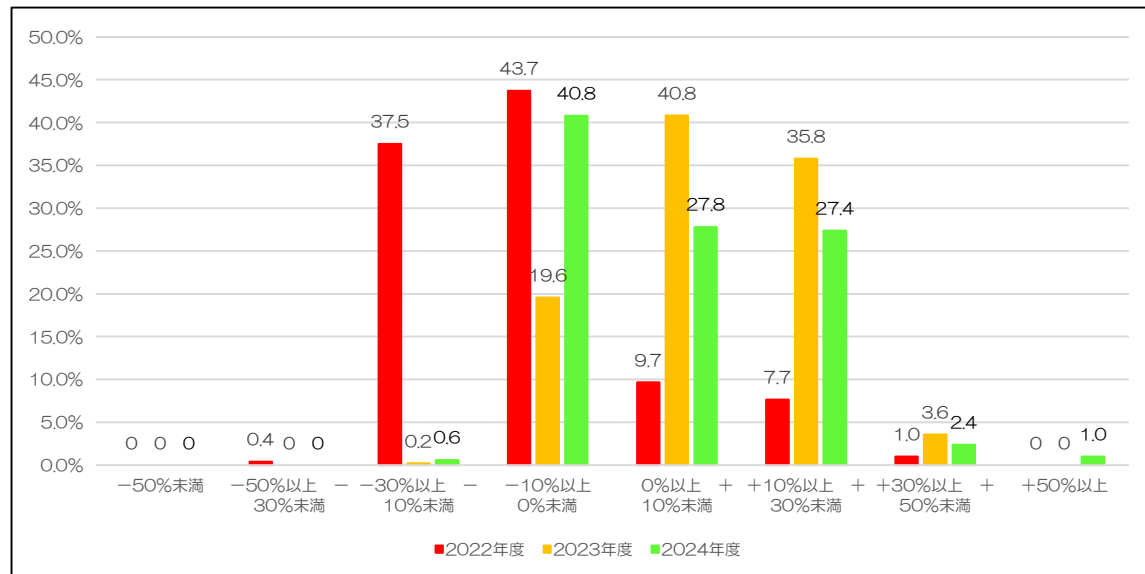
- 投資信託を保有しているお客様について、基準日時点の保有投資信託に係る購入時以降の累積の運用損益（手数料控除後）を算出し運用損益別にお客様の比率を示した指標です。個々のお客様が保有している投資信託について、購入時以降どのくらいのリターンが生じているかを見ることができます。
- 当金庫で投資信託を保有しているお客様の運用損益状況を運用損益率区分ごとに表示しています。

<運用損益率がプラスのお客様比率>

2022年度（2023年3月末時点）約58%、2023年度（2024年3月末時点）約86%、
2024年度（2025年3月末時点）約37%

○引き続き、市場動向を踏まえたアフターフォローを継続してまいります。

(2) 外貨建保険の運用評価別顧客比率



<本項目の内容について>

- 基準日時点で外貨建一時払保険を保有しているお客様について、加入時以降のリターンを算出し、リターン別のお客様の分布を示したものです。対象のお客様全体を100%とし、それぞれの運用評価に該当する顧客数比率を棒グラフ化したものです。

【対象契約数】2022年度：496契約、2023年度：475契約、2024年度：468契約

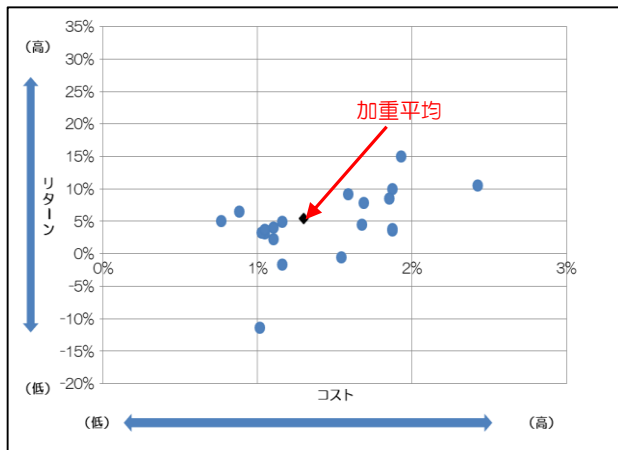
※本項目は、投資信託の「運用損益別顧客比率」に相当します。

○当金庫では、契約後も半年に1回程度、アフターフォローを実施しております。

4. お客様の運用成果に関する指標 ～比較可能な共通KPI②～

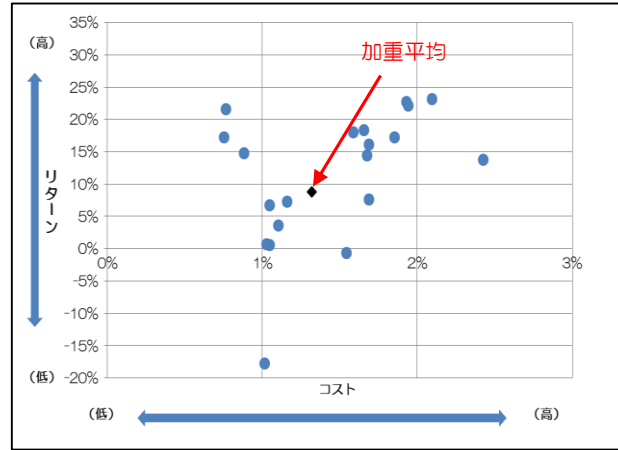
(3) 投資信託預かり資産残高上位20銘柄のコスト・リターン

【2023年3月末】



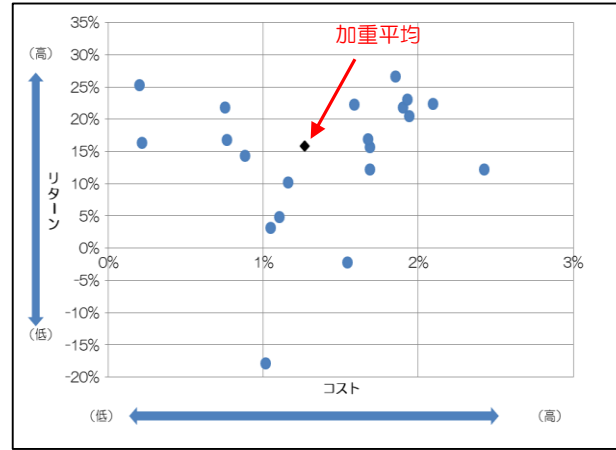
残高加重平均値：コスト1.30%、リターン5.47%

【2024年3月末】



残高加重平均値：コスト1.32%、リターン8.81%

【2025年3月末】



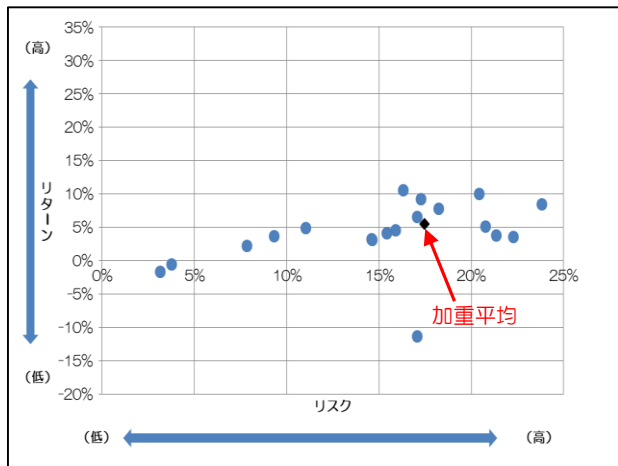
残高加重平均値：コスト1.27%、リターン15.88%

<本項目の内容について>

- 設定後5年以上の投資信託の預かり資産残高上位20銘柄について、銘柄ごとおよび預かり資産残高加重平均の「コストとリターン」の関係を示した指標です。
- 中長期的に、どのようなリターン実績を持つ商品をお客さまに提供したかを見ることができます。

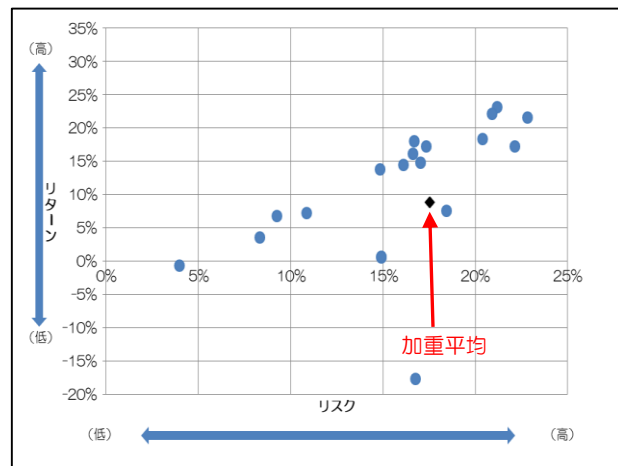
(4) 投資信託預かり資産残高上位20銘柄のリスク・リターン

【2023年3月末】



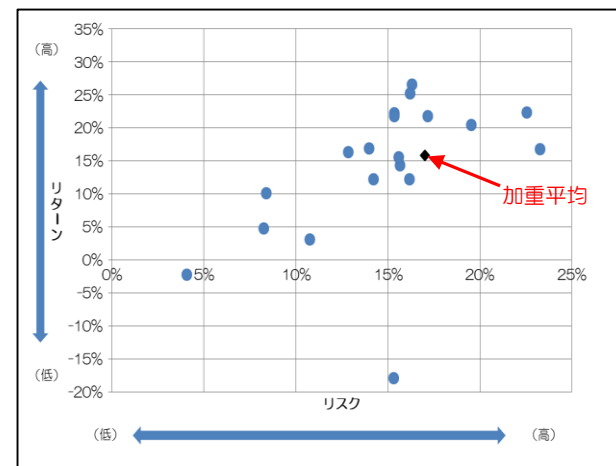
残高加重平均値：リスク17.45%、リターン5.47%

【2024年3月末】



残高加重平均値：リスク17.51%、リターン8.81%

【2025年3月末】



残高加重平均値：リスク17.00%、リターン15.88%

<本項目の内容について>

- 設定後5年以上の投資信託の預かり資産残高上位20銘柄について、銘柄ごとおよび預かり資産残高加重平均の「リスクとリターン」の関係を示した指標です。
- 中長期的に、どのようなリターン実績を持つ商品をお客さまに提供したかを見ることができます。

4. お客様の運用成果に関する指標 ～比較可能な共通KPI②～

<参考>当金庫の投資信託の残高上位20銘柄（設定後5年以上）

【2023年3月末】

No.	ファンド名	運用会社名
1	しんきんインデックスファンド225	しんきんアセットマネジメント投信
2	トヨタ自動車/トヨタグループ株式ファンド	三井住友DSアセットマネジメント
3	しんきんJリートオープン(毎月決算型)	しんきんアセットマネジメント投信
4	グローバルAIファンド	三井住友DSアセットマネジメント
5	しんきんグローバル6資産ファンド(毎月決算型)	しんきんアセットマネジメント投信
6	新光US-REITオープン	アセットマネジメントOne
7	新成長株ファンド	明治安田アセットマネジメント
8	グローバル・ハイクオリティ成長株式ファンド(為替ヘッジなし)	アセットマネジメントOne
9	リバース・トレンド・オープン(日本トレンド・セレクト)	日興アセットマネジメント
10	AI(人工知能)活用型世界株ファンド	アセットマネジメントOne
11	しんきんJリートオープン(1年決算型)	しんきんアセットマネジメント投信
12	DIAM高格付インカム・オープン(毎月決算コース)	アセットマネジメントOne
13	グローバル・ヘルスケア&バイオ・ファンド	三菱UFJアセットマネジメント
14	グローバル・ハイクオリティ成長株式ファンド(限定為替ヘッジ)	アセットマネジメントOne
15	ノムラ・ジャパン・オープン	野村アセットマネジメント
16	しんきん3資産ファンド(毎月決算型)	しんきんアセットマネジメント投信
17	ダイワ・インド株ファンド	大和アセットマネジメント
18	しんきん好配当利回り株ファンド	しんきんアセットマネジメント投信
19	投資のソムリエ	アセットマネジメントOne
20	しんきん世界アロケーションファンド	しんきんアセットマネジメント投信

【2024年3月末】

No.	ファンド名	運用会社名
1	リバース・トレンド・オープン(日本トレンド・セレクト)	日興アセットマネジメント
2	しんきんインデックスファンド225	しんきんアセットマネジメント投信
3	トヨタ自動車/トヨタグループ株式ファンド	三井住友DSアセットマネジメント
4	新光US-REITオープン	アセットマネジメントOne
5	しんきんJリートオープン(毎月決算型)	しんきんアセットマネジメント投信
6	しんきんグローバル6資産ファンド(毎月決算型)	しんきんアセットマネジメント投信
7	ダイワ・インド株ファンド	大和アセットマネジメント
8	グローバルAIファンド	三井住友DSアセットマネジメント
9	グローバル・ハイクオリティ成長株式ファンド(為替ヘッジなし)	アセットマネジメントOne
10	AI(人工知能)活用型世界株ファンド	アセットマネジメントOne
11	ノムラ・ジャパン・オープン	野村アセットマネジメント
12	グローバル・ヘルスケア&バイオ・ファンド	三菱UFJアセットマネジメント
13	netWIN GSテクノロジー株式ファンド Bコース(為替ヘッジなし)	ゴールドマン・サックス・アセット・マネジメント
14	しんきん3資産ファンド(毎月決算型)	しんきんアセットマネジメント投信
15	しんきんJリートオープン(1年決算型)	しんきんアセットマネジメント投信
16	GS 日本フォーカス・グロース 年2回決算コース	ゴールドマン・サックス・アセット・マネジメント
17	DIAM高格付インカム・オープン(毎月決算コース)	アセットマネジメントOne
18	投資のソムリエ	アセットマネジメントOne
19	三井住友・NYダウ・ジョーンズ・インデックスファンド(為替ノーヘッジ型)	三井住友DSアセットマネジメント
20	グローバル・ロボティクス株式ファンド(年2回決算型)	日興アセットマネジメント

【2025年3月末】

No.	ファンド名	運用会社名
1	しんきんインデックスファンド225	しんきんアセットマネジメント投信
2	netWIN GSテクノロジー株式ファンド Bコース(為替ヘッジなし)	ゴールドマン・サックス・アセット・マネジメント
3	トヨタ自動車/トヨタグループ株式ファンド	三井住友DSアセットマネジメント
4	ダイワ・インド株ファンド	大和アセットマネジメント
5	ニッセイ宇宙関連グローバル株式ファンド(資産成長型・為替ヘッジなし)	ニッセイアセットマネジメント
6	リバース・トレンド・オープン(日本トレンド・セレクト)	日興アセットマネジメント
7	iFree S&P500インデックス	大和アセットマネジメント
8	グローバルAIファンド	三井住友DSアセットマネジメント
9	新光US-REITオープン	アセットマネジメントOne
10	AI(人工知能)活用型世界株ファンド	アセットマネジメントOne
11	しんきんJリートオープン(毎月決算型)	しんきんアセットマネジメント投信
12	GS 日本フォーカス・グロース 年2回決算コース	ゴールドマン・サックス・アセット・マネジメント
13	三井住友・NYダウ・ジョーンズ・インデックスファンド(為替ノーヘッジ型)	三井住友DSアセットマネジメント
14	投資のソムリエ	アセットマネジメントOne
15	グローバル・ヘルスケア&バイオ・ファンド	三菱UFJアセットマネジメント
16	ノムラ・ジャパン・オープン	野村アセットマネジメント
17	iFree JPY日経400インデックス	大和アセットマネジメント
18	グローバル・ロボティクス株式ファンド(年2回決算型)	日興アセットマネジメント
19	DIAM高格付インカム・オープン(毎月決算コース)	アセットマネジメントOne
20	しんきんグローバル6資産ファンド(毎月決算型)	しんきんアセットマネジメント投信

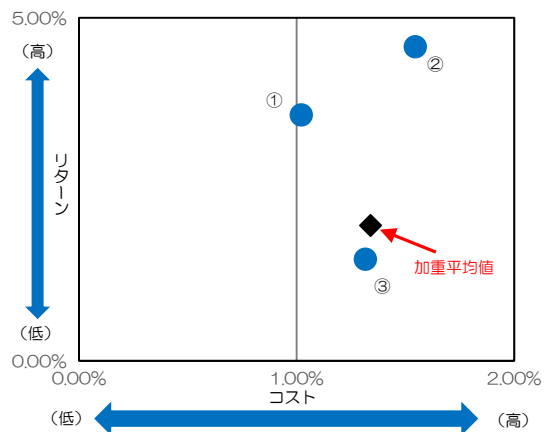
4. お客様の運用成果に関する指標 ～比較可能な共通KPI②～

(4) 外貨建保険の銘柄別コスト・リターン

<本項目の内容について>

○当金庫が保険募集を行った契約で保険契約開始から60ヶ月以上経過した契約について、平均コストと平均リターンの関係を示した指標です。

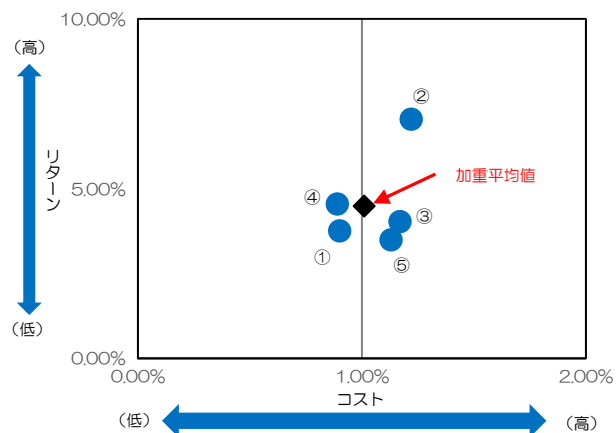
【2023年3月末】



加重平均値	コスト	リターン
	1.34%	1.97%

銘柄名	コスト	リターン
①ふるはーとJロードグローバル (住友生命)	1.02%	3.59%
②エブリバディプラス米ドル建 (明治安田生命)	1.54%	4.58%
③エブリバディプラス豪ドル建 (明治安田生命)	1.31%	1.48%

【2024年3月末】



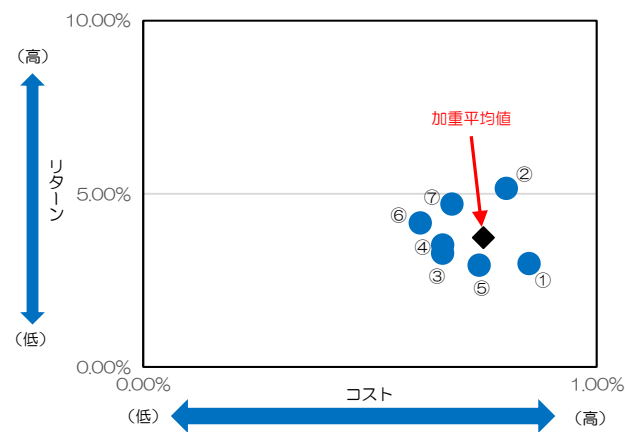
加重平均値	コスト	リターン
	1.01%	4.48%

銘柄名	コスト	リターン
①ふるはーとJロードグローバル (住友生命)	0.90%	3.76%
②エブリバディプラス米ドル建 (明治安田生命)	1.22%	7.05%
③エブリバディプラス豪ドル建 (明治安田生命)	1.17%	4.04%
④円貨エブリバディプラス米 (明治安田生命)	0.89%	4.55%
⑤円貨エブリバディプラス豪 (明治安田生命)	1.13%	3.50%

※表内「④」：エブリバディプラス米ドル建がターゲット到達したものの。

※表内「⑤」：エブリバディプラス豪ドル建がターゲット到達したものの。

【2025年3月末】



加重平均値	コスト	リターン
	0.75%	3.73%

銘柄名	コスト	リターン
①ふるはーとJロードグローバル (住友生命)	0.85%	3.00%
②エブリバディプラス米ドル建 (明治安田生命)	0.80%	5.17%
③エブリバディプラス豪ドル建 (明治安田生命)	0.66%	3.29%
④円貨エブリバディプラス米 (明治安田生命)	0.66%	3.53%
⑤円貨エブリバディプラス豪 (明治安田生命)	0.74%	2.95%
⑥えらべる外貨【贈るタイプ 生存給付金支払回数10回】米ドル建 (明治安田生命)	0.61%	4.17%
⑦えらべる外貨【受け取るタイプ】米ドル建 (明治安田生命)	0.68%	4.71%

※表内「④」：エブリバディプラス米ドル建がターゲット到達したものの。

※表内「⑤」：エブリバディプラス豪ドル建がターゲット到達したものの。

4. お客様の運用成果に関する指標 ～比較可能な共通KPI③～

<参考>データ算出基準等について

<「投資信託」共通KPIについて>

1. 『投資信託の運用損益別顧客比率』データ算出基準

基準日：2023年3月末時点、2024年3月末時点、2025年3月末時点

運用損益：基準日時点の評価金額+累計受取分配金額（税引後）+累計売却金額-累計買付金額（販売手数料（税込）を含む）

運用損益率：上記運用損益を基準日時点の評価金額で除して算出

2. 『投資信託預かり資産残高上位20銘柄のコスト・リターン/リスク・リターン』データ算出基準

基準日：2023年3月末時点、2024年3月末時点、2025年3月末時点

対象ファンド：投資信託の預かり資産残高上位20銘柄（設定後5年以上）

コスト：（販売時手数料÷5）+信託報酬（年率）

販売時手数料は当金庫において最低販売額での料率（税込）

信託報酬（年率）は、目論見書記載の実質的な信託報酬率の上限（その他の費用・手数料は含まず）

リターン：過去5年間のトータルリターン（年率換算）

騰落率算出の際に用いる基準価額は分配金再投資後（税引前）の基準価額を使用

リスク：過去5年間の月次リターンの標準偏差（年率換算）

騰落率算出の際に用いる基準価額は分配金再投資後（税引前）の基準価額を使用

※上記は将来における当金庫取扱いの投資信託のリターン、リスクを示唆、保証するものではありません。

4. お客様の運用成果に関する指標 ～比較可能な共通KPI③～

<参考>データ算出基準等について

<「外貨建保険」共通KPIについて>

1. 『運用評価別顧客比率』データ算出基準

基準日：2023年3月末時点、2024年3月末時点、2025年3月末時点

対象顧客：基準日時点で外貨建一時払保険を契約している個人のお客様。

対象契約：当金庫が保険募集を行った契約。

※基準日時点で解約済の契約、年金の支払いが開始している年金契約（据置期間の契約も含む）は除外しています。

対象商品：基準日時点で対象顧客が保有している外貨建一時払保険。

※外貨建医療保険、外貨建平準払保険は除外しています。

※介護保障や特定疾病保障等、生前給付の保障が組込まれている商品は除外しています。

※当金庫対象商品は、以下の通りです。

- ①『ふるはーとJロードグローバル（住友生命）』
- ②『ふるはーとJロードグローバルⅡ（住友生命）』
- ③『エブリバディプラス（明治安田生命）』
- ④『えらべる外貨建一時払終身（明治安田生命）』
- ⑤『おおきな、まごころ2（三井住友海上プライマリー生命）』

運用評価計算：「 $\{（基準日時点の解約返戻金 + 基準日時点の既支払金） - 契約時点の一時払保険料\} \div （契約時点の一時払保険料）$ 」

※解約返戻金、既支払金、一時払保険料は円換算。

※解約返戻金については時価評価を行うため、金利変動による市場価格調整（MVA）を反映。

※既支払金を外貨で支払った場合に使用する為替レートは各社の定める手法を適用。

4. お客様の運用成果に関する指標 ～比較可能な共通KPI③～

<参考>データ算出基準等について

<「外貨建保険」共通KPIについて>

2. 『銘柄別コスト・リターン』データ算出基準

基準日：2023年3月末時点、2024年3月末時点、2025年3月末時点

対象契約：当金庫が保険募集を行った契約で、保険契約開始から60ヶ月以上経過した契約。

※基準日時点で解約済の契約、年金の支払いが開始している年金契約（据置期間の契約も含む）は除外しています。

対象銘柄：外貨建一時払保険のうち、保険契約開始から60ヶ月以上経過した契約が存在する銘柄。

※対象となる契約にかかる「基準日時点の解約返戻金+基準日時点の既支払金の合計額」で最大上位20銘柄とします。

※外貨建医療保険、外貨建平準払保険は除外しています。

※介護保障や特定疾病保障等、生前給付の保障が組込まれている商品は除外しています。

※当金庫対象銘柄は、以下の通りです。

①『ふるはーとJロードグローバル（住友生命）』 ②『エブリバディプラス（明治安田生命）』 ③『えらべる外貨建一時払終身（明治安田生命）』

コスト：個別銘柄のコストは各契約のコスト率について、保険会社が支払う代理店手数料のうち、新契約手数料率を基準日までの契約期間（月単位）で除したものと年間の継続手数料率を使用し算出を行い、各契約のコスト率を各契約の契約時点の一時払保険料（円換算）で加重平均しています。契約期間の途中で継続手数料率の取扱い手数料支払いが完了している場合、支払いがあった年度分の継続手数料率を累積した上で、経過期間に基づき年率換算を行っています。

リターン：各契約のリターン率について、「 $\{（基準日時点の解約返戻金+基準日時点の既支払金）- 契約時点の一時払保険料\} \div（契約時点の一時払保険料）$ 」を年率に換算し、各契約のリターン率を各契約の契約時点の一時払保険料で加重平均しています（いずれも円換算）。

※解約返戻金については時価評価を行うため、金利変動による市場価格調整（MVA）を反映。

加重平均値：コスト、リターンともに、個別銘柄の対象となる契約にかかる基準日時点の「解約返戻金+基準日時点の既支払金」の合計額で加重平均を行っています。

<参考>「顧客本位の業務運営に関する原則」（金融庁公表）について

【顧客本位の業務運営に関する方針の策定・公表等】

原則1	金融事業者は、顧客本位の業務運営を実現するための明確な方針を策定・公表するとともに、当該方針に係る取組状況を定期的に公表すべきである。当該方針は、より良い業務運営を実現するため、定期的に見直されるべきである。
-----	--

【顧客の最善の利益の追求】

原則2	金融事業者は、高度の専門性と職業倫理を保持し、顧客に対して誠実・公正に業務を行い、顧客の最善の利益を凶るべきである。金融事業者は、こうした業務運営が企業文化として定着するよう努めるべきである。
-----	--

【利益相反の適切な管理】

原則3	金融事業者は、取引における顧客との利益相反の可能性について正確に把握し、利益相反の可能性がある場合には、当該利益相反を適切に管理すべきである。金融事業者は、そのための具体的な対応方針をあらかじめ策定すべきである。
-----	--

【手数料等の明確化】

原則4	金融事業者は、名目を問わず、顧客が負担する手数料その他の費用の詳細を、当該手数料等がどのようなサービスの対価に関するものかを含め、顧客が理解できるよう情報提供すべきである。
-----	--

【重要な情報の分かりやすい提供】

原則5	金融事業者は、顧客との情報の非対称性があることを踏まえ、上記原則4に示された事項のほか、金融商品・サービスの販売・推奨等に係る重要な情報を顧客が理解できるよう分かりやすく提供すべきである。
-----	--

【顧客にふさわしいサービスの提供】

原則6	金融事業者は、顧客の資産状況、取引経験、知識及び取引目的・ニーズを把握し、当該顧客にふさわしい金融商品・サービスの組成、販売・推奨等を行うべきである。
-----	---

【従業員に対する適切な動機づけの枠組み等】

原則7	金融事業者は、顧客の最善の利益を追求するための行動、顧客の公正な取扱い、利益相反の適切な管理等を促進するように設計された報酬・業績評価体系、従業員研修その他の適切な動機づけの枠組みや適切なガバナンス体制を整備すべきである。
-----	---

※各原則の注記及び補充原則は記載を省略しています。